関西学院大学
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

# ～発生後から 11 回に及ぶ活動の総決算～
# 能登半島地震現地ボランティアの最終報告会を開催

報 道 各 位

関西学院広報部

関西学院大学（兵庫県西宮市、学長：森康俊）では、2026 年 11 月 28 日（土）、西宮上ケ原キャンパスにて「2026 年度 関西学院大学 能登半島地震現地ボランティア報告会」を開催します。
本学では、令和 6 年能登半島地震の発生を受け、NPO 法人日本災害救援ボランティアネットワーク（NVNAD）、西宮市社会福祉協議会と連携し、石川県七尾市で 2024 年から累計 11 回の現地ボランティア活動を行ってきました。中島町第一団地の仮設住宅や豊川地域を訪問し、住民の皆さまと学生、住民の方々同士が交流を通して関わり合う機会を大切にしてきました。
復興公営住宅の整備が進むなど、現地の状況が変化するなか、2026 年 10 月に実施した第 11 回の活動をもって本学の現地での活動は一区切りを迎えることになりました。
今回の報告会では、ゲストとして現地で学生の活動を支えてくださった被災地 NGO 協働センター現地スタッフの松田空莉氏と、交流会の企画・準備にもご協力いただいた豊川地域の菅田清美氏を本学に迎えます。仮設住宅の現状や避難所運営の経験について伺うとともに、お二人と活動に参加した学生が登壇するパネルディスカッションを行います。
能登の今を知り、これからについて思いを巡らせ、ともに考える機会となることを願っています。

**概要：**

タイトル：「2026 年度 関西学院大学 能登半島地震現地ボランティア報告会」
日　　時：2026 年 11 月 28 日（土）13：00～16：00
会　　場：西宮上ケ原キャンパス 社会学部棟 201 教室
参 加 費：無料（申し込み不要）
主　　催：ボランティア活動支援センター ヒューマン・サービス支援室
ゲ ス ト：
・被災地 NGO 協働センター 現地スタッフ　松田空莉氏
石川県七尾市中島町で活動する被災地 NGO 協働センターの現地スタッフ。
現地では、仮設住宅の見守り活動（支えあい事業）をはじめ、地域住民のニーズに応じて清掃活動や交流会の開催など、幅広い支援に取り組んでいます。本学の活動では、現地の仮設住宅の状況や課題を学生に伝え、戸別訪問を一緒に回ってくださるなど活動を支えていただきました。

・石川県七尾市中島町豊川地区　豊川女性会事務局　菅田清美氏
石川県七尾市中島町豊川地区の女性会や老人会に所属。能登半島地震の際には、豊川分館（コミュニティセンター）の職員として避難所運営に従事。
本学の活動では、地域住民の声と学生の想いの両方を大切にしながら、交流会の企画から当日の運営まで行っていただき、学生と地域をつなぐ活動を支えていただきました。

**内容：**

・活動概要の紹介・仮設住宅の現地の状況・避難所開設について（13：10～13：40）
はじめに、本学の現地ボランティア活動の概要を紹介し、その後ゲストの松田氏から中島町の仮設住宅の現状と課題について、菅田氏から豊川分館（コミュニティセンター）が避難所となった際の運営についてお話しいただく。

・パネルディスカッション「活動で生まれた変化」（13：40～14：20）
松田氏・菅田氏と、活動に参加した学生 4 名が登壇。現地と学生それぞれの立場から活動を振り返り、交流を通して生まれた変化や、活動に寄せる思いについて話し合う。

・参加者によるグループディスカッション（14：40～15：40）
今年度、能登半島地震現地ボランティアに参加した 30 名などが参加し、活動の話を聞いて大切だと思ったことをもとに、明日からできることを考える。現地での経験や当日の学びを、今後の行動につなげる機会とする。

【参考：ヒューマン・サービス支援室の理念】
ミッション：社会に関わり、人に仕える KG ボランティアを支えます。
ビジョン　：「かかわる、ひろがる、響き合う」
　私たちはボランティアを通じて、人や社会と関わり、つながりを広げ、関わる人々とその経験を響かせ合いながら、一人ひとりが成長する機会を作ります。
バリュー　：私たちは、わくわくしながら活動し、一緒に考え、一緒に楽しみ、話し合い、聴き合い、共感し、自分のこととして考え行動することを通して、KG ボランティアをサポートします。私たちも KG ボランティアです。

本件に関するお問い合わせ先：学校法人関西学院 広報部　担当：中谷、犬伏（いぬぶし）
兵庫県西宮市上ケ原一番町 1-155 〒662-8501　TEL. 0798-54-6873 Fax. 050-3535-4985